

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷ガレットと南信州の伝統野菜、シードルの連携による魅力ある観光地づくり事業
事業主体 (連絡先)	信州伊那谷ガレット協議会南信州支部 飯田市大通2-228-7
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	512,525 円 (うち支援金: 410,000 円)

#### 事業内容

ガレットとは何か、なぜ南信州地域でガレットなのかを知ってもらい、地元産のそば粉、野菜、卵、シードルなどを材料としたガレットを一般家庭でも食べたり、飲食店や宿泊事業者にメニューとして提供してもらえるように、ガレット教室を開催した。

- ・ガレット教室：全5回開催  
(5/20(飯田市), 7/1(根羽村), 9/15(天龍村), 10/4(大鹿村), 3/15(オンライン))
- ・料理教室用器材の購入
- ・ガレットを紹介するパンフレット作成(3,000部)・配布



【根羽村ガレット教室】

#### 事業効果

- ①ガレット教室で72名が初めてガレットを食べた。
- ②ガレット教室では、毎回伊那谷産そば粉(飯島町産、下條村産)と下條村産シードルを使用した。飯田教室では、上郷産トマト、根羽教室では、参加者持参のアスパラガス、トマト、ブルーベリー、天龍教室では、ていぎなす、ゆべし、ジビエ、大鹿教室では、卵、塩、イチゴ、レタス、カボチャ、ジビエを使用した。  
調理後、季節ごとに活用できる地元食材をピックアップし、オリジナルメニューを検討した。
- ③ガレット教室の参加者は、ガレットのつくり方を学んだことで、家庭でも食べてもらえるようになった。
- ④ガレット教室参加者のうち2件の飲食店、農家民宿がガレットをメニューに取り入れ、他に5名の飲食店等がメニュー化の検討を始めた。
- ⑤ガレットを紹介するパンフレットを参加者や関係市町村、連携した高校へ配布することでガレットへの理解をより深め、今後の地域活性化に向けた担い手づくりを促進した。

#### 【目標・ねらい】

- ①ガレットの認知度向上
- ②地元食材を活用促進とガレットメニュー開発
- ③ガレットによる地域活性化の担い手づくり
- ④ガレット提供飲食店および宿泊事業者の育成

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

- ・ガレット教室参加者 72名
- ・新規ガレット提供店 2店
- ・地元の特産品や旬の食材を使ったメニューの検討を行った。
- ・高校生と連携しガレットによる地域活性化に取り組んだ。

#### 今後の取り組み

- ①市町村の管理栄養士と連携して、栄養バランスの良いガレットを高齢者にPRする。
- ②市町村の公民館活動でガレット教室を開催し、ガレットの担い手を増やす。
- ③高校生のガレットによる地域活性化学習、地産地消学習を支援する。
- ④飲食店や宿泊事業者向けのガレット教室を開催して、ガレットによる観光客誘致を進める。
- ⑤南信州シードル協議会と連携して、シードルとガレットのイベントを企画する。